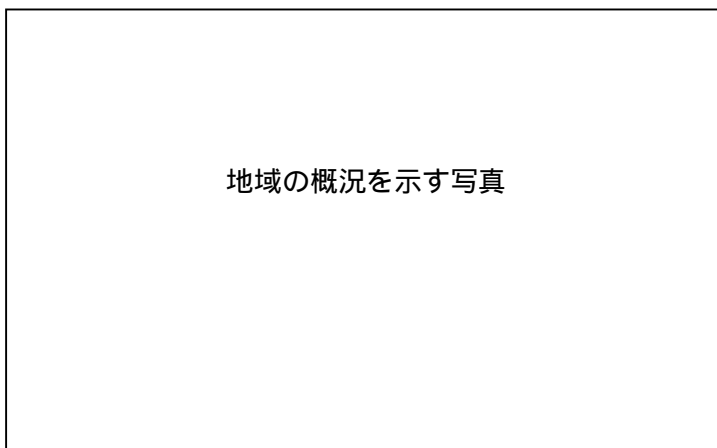


都市計画マスタープラン「地域別構想」(素案)について

5 1 与板地域の概要

- ・ 長岡市北西部に位置する与板地域は、東部を信濃川及び黒川が南北に流れ、西山丘陵沿いの与板地区や本与板地区などに市街地が形成されています。また、国道403号、県道長岡寺泊線、県道与板関原線など、地域を縦断する幹線道路の南北に集落が点在しています。
- ・ 国道403号沿道の与板地区に中心商店街が形成されているほか、近年、新たに住宅地が整備された江西地区周辺には、食品スーパーやホームセンターなどの商業施設が立地しています。また、地域内には3箇所の工業導入地区が整備され、金属加工などの企業が立地しています。
- ・ 地域資源としては、直江兼続公ゆかりの歴史資源、伝統工芸品「越後与板打刃物」、与板十五夜祭りで催される「登り屋台」などがあります。また、「楽山苑」、「与板歴史民俗資料館」などの観光施設があります。



地域に関するデータ

- ・ 総面積 20.1 km² (2.4%)
- ・ 総人口 7,273 人 (2.6%)
- ・ 世帯数 2,123 世帯 (2.2%)
- ・ 年少人口比率 14.8%
- ・ 高齢人口比率 25.1%

(出典) H17 年国勢調査

カッコ内は市全体に占める割合

2 現状と課題

地域資源を活かしたまちづくり

- ・ 与板地域では、「与板・本与板城跡」や鉄道廃線敷などを活用したまちづくりが既に始まっています。今後も、このような取組みを継続しながら、市民との協働による地域づくりを推進する必要があります。
- ・ 大河ドラマ「天地人」を契機として、与板地域への観光客数が増加傾向にあります。今後も継続的な観光振興を図るため、既存の観光施設の活用や新たな観光資源との連携が必要です。

道路・交通ネットワークの課題

- ・ 与板地域と各地域を結ぶ国・県道は、住民の通勤・通学などの日常生活はもとより、

広域観光を支える重要な路線であることから、道路幅員の拡幅や歩道の整備など、さらなる道路機能の強化が必要です。

- ・ 国道 403 号と県道長岡寺泊線が交差する信濃川左岸の与板橋西詰交差点では、通勤・通学の時間帯や観光シーズンなどにおいて、慢性的な交通渋滞が発生しています。
- ・ 幅員の狭い身近な生活道路では、歩行者の安全性を確保するため、歩道の整備や交通安全施設の設置が必要です。
- ・ バス交通は、与板地域における唯一の公共交通であり、住民の通勤・通学等を支える重要な交通手段です。このため、今後もバス交通を維持・充実していく必要があります。

10 安全・安心なまちづくりの課題

- ・ 市街地を流れる黒川流域の低地部では、近年、集中豪雨の際に、浸水被害が発生しており、雨水対策に向けた取組みが必要です。
- ・ 旧黒川以西の市街地では、城下町としての街なみが残っている一方、住宅が密集して立地し、道路幅員も狭い箇所があります。

15 地域産業の活性化と土地利用の課題

- ・ 与板地域は、伝統ある打刃物産業をはじめ、金属加工などの企業が立地し、産業が盛んな地域です。この強みを活かし、さらなる地域振興につなげていくため、都市整備の面からも地域産業の活性化を支援する必要があります。
- ・ 市街化区域内には、未利用地や未開発地が残っています。また、人口減少や転居に伴って、与板地区、本与板地区など従来からの住宅集積地においても、空き家や空き地が発生しています。

20 自然環境の保全に向けた課題

- ・ 与板地域は、信濃川や西山丘陵などの豊かな自然環境を有しており、地域住民が主体となったホタルの保護活動などが行われています。市民生活にうるおいと安らぎを与えるこれらの自然環境を、今後も適切に維持・保全する必要があります。

3 地域づくりの方針

< 地域の将来像 >

今後、地域委員会や策定委員会の議論を踏まえて、記述する予定

城下町の街なみを活かした地域づくりと観光振興

- ・ 与板地域では、来街者の利便性を高めるとともに、さらなる地域振興を図るため、今後も自転車歩行者優先道路やまちなか散策路などの整備に取り組めます。

- ・ 城下町の街なみを活かした地域づくりを推進し、さらなる観光振興を図るため、今後も市民との協働により、地域情報を発信する施設や中心商店街のアーケードの整備を検討します。
- ・ 長岡駅から寺泊港に至る各地域の連携強化とともに、豊富な地域資源を活かした観光ルートを創出するため、観光シャトルバスの運行を検討します。

安全・安心な都市基盤の整備

- ・ 市街地の低地部における浸水被害を軽減するため、信濃川と黒川の合流部の改善、関連する旧黒川などの河川改修、排水機場の整備、土砂の浚渫などを促進するとともに、雨水管や道路側溝等の整備を進めます。
- ・ 幅員の狭い道路に面した地区においては、緊急時に迅速な対応ができる安全・安心なまちづくりを検討します。

幹線道路及び生活道路の整備

- ・ 信濃川左岸地域の連携強化を図るため、既存の道路を活用しながら信濃川左岸バイパスの暫定ルートの整備を推進します。
- ・ 与板橋西詰交差点における交通渋滞については、信濃川左岸バイパスの暫定ルートの整備と合わせて、混雑解消に向けた対策を検討します。
- ・ 通学路や身近な生活道路では、道路照明灯などの交通安全施設を設置するとともに、歩道の整備を推進します。

公共交通ネットワークの維持・充実

- ・ 既存のバス路線は、その運行を維持するとともに、バス停の上屋整備など、バス交通の利用環境の向上を図ります。

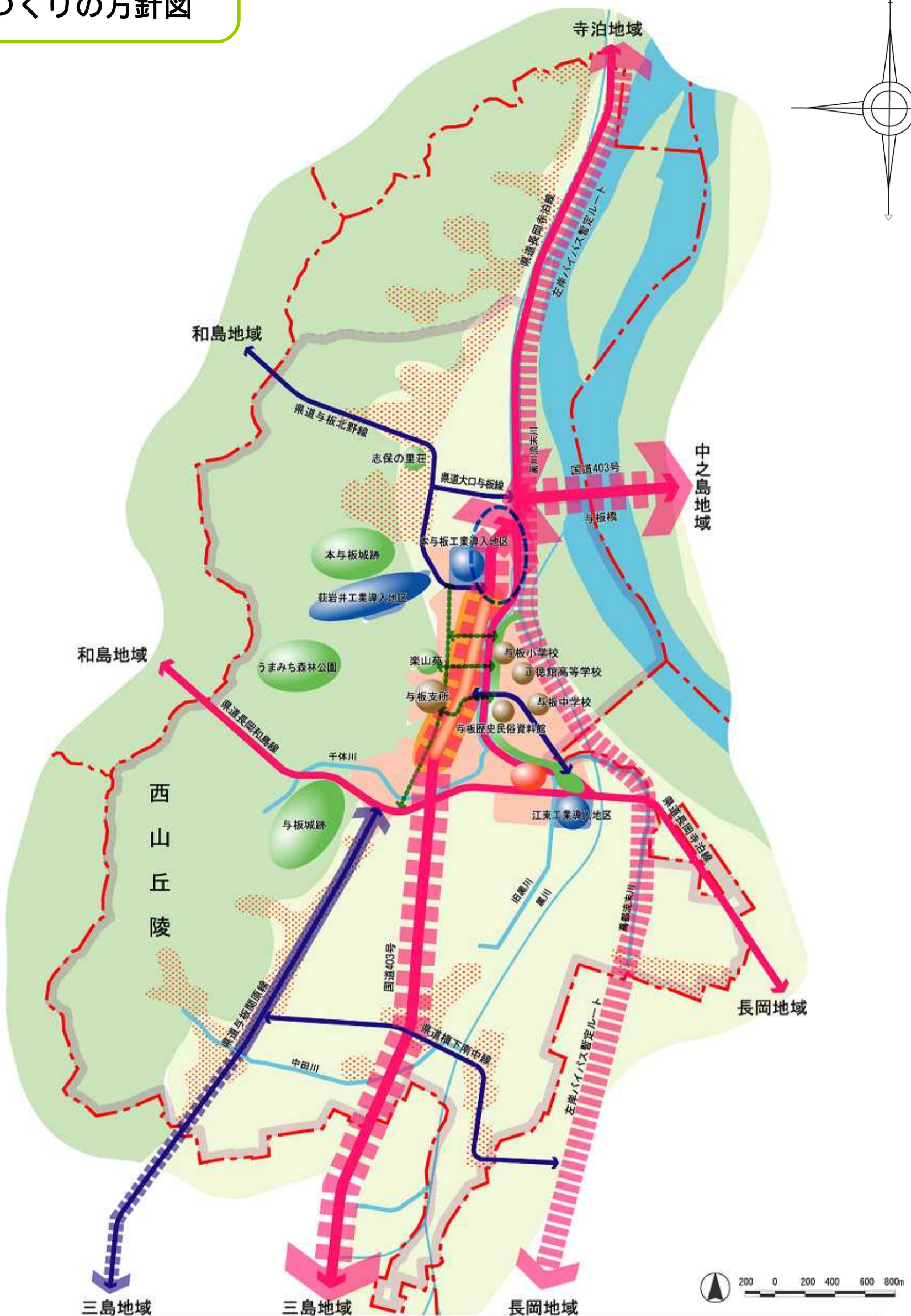
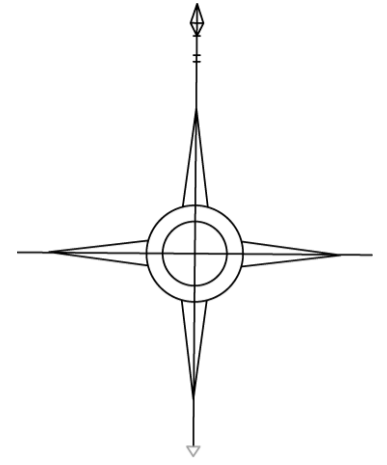
地域産業の活性化と土地利用の誘導

- ・ 開発が進まず農地のまま残されている、江西・江東地区の市街化区域の一部を市街化調整区域に変更します。また、既成市街地をしっかりと活用していくため、空き家や空き地の有効活用などの仕組みづくりを検討します。
- ・ 雇用の場を創出し、定住人口の確保につなげていくため、必要に応じて適切な土地利用の誘導とともに、基盤整備を検討します。
- ・ 市街地や農村集落では、日常生活において身近な範囲内に買い物の場を確保し、高齢社会に対応した地域づくりを推進するため、土地利用の面からも適切な支援を行います。

自然環境の保全・活用

- ・ 平野部に広がる田園地帯や、西山丘陵の豊かな山林については、今後も適切に維持・保全します。
- ・ 信濃川をはじめ、旧黒川などの河川空間は、市街地における貴重な自然資源であることから、「与板緑地たちばな公園」の再整備などにより、うるおいのある水辺空間づくりを進めます。

地域づくりの方針図



土地利用		凡例	
	近隣型商業集積地		道路(現状) 主要幹線道路
	工業・業務集積地		道路(現状) 都市内幹線道路
	レクリエーション交流地		道路(計画・整備を検討する路線) 主要幹線道路
	にぎわい住宅地		道路(計画・整備を検討する路線) 都市内幹線道路
	うるおい住宅地		歩行者・自転車ネットワーク
	農村集落地		公共公益施設
	農地		河川
	山林・河川敷		浸水箇所の改善
			都市計画区域
			地域界